単元の導入として、

勤務を経験した後,27歳で

公立小学校教諭に。横浜市

小学校国語研究会を中心に

市内の国語教育推進に取り 組む。平成24年度文部科学 大臣優秀教員に選ばれる。

## 読むこと教材(説明文) ウ ナ ギ なぞを追 て」(四年下)

デジタル教科書を効果的に活用しよう

画像と文章を関連させながら読むことで、 読みを深める

悩むことはないでしょうか。 またそれによって、 授業のどんなところで「国語デジタル教科書」を使えばよいのか、 デジタル教科書を導入したものの、どのような場面で使うとよいのか どのような効果が得られるのかをお伝えします 今号からスタ トする本連載では、

理したりしながら読んでいくことができ を整理したり、 を解明していくドキュメント番組のよう ができる科学読み物です。子どもたちは 奇心をくすぐり、 ないと、子どもたちにとって難しく感じ かし、その一方で、時系列に沿って事実 な展開で書かれた文章に引き込まれてい あるウナギが、 なぞを追って」 る教材でもあります。 くという、とても魅力的な教材です。 いることを知って驚きます。そして、謎 自分たちにとって身近な生き物で 話題のまとまりごとに整 は、子どもたちの知的好 実は多くの謎に包まれて 興味をもって読むこと 子どもたちが、

四年下の教科書で学習する「ウナギの

指導目標

## ◎自分が興味をもったところを紹介するために、文章の内容を 的確に押さえて要旨を捉えたり、事実と感想、意見などとの 関係を押さえ、自分の考えを明確にしながら読んだりするこ とができる。【読(1)イ, エ】【伝国(1)イ(ア)】

○文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げた り深めたりすることができる。【読(1)オ】

## 指導計画(全8時間)

3時

4時

第1次 1時 学習の見通しをもち、学習計画を立てる。

デジタル教科書の活用場面● 子どもたちの知的好奇心をくすぐる。

第2次 2時 目的に沿って、文章を深く読む。

事実を時系列に沿って整理しながら読む。 ・画像についての説明を考えながら読む。 (グループで学び合い)

デジタル教科書の活用場面2

事実と考えの記述に気をつけながら,調査の道 筋を読み取ったり、調査内容を捉えたりする。

第3次 5時 最も興味をもったところを中心に文章を要約する。

要約や紹介文を書く活動につなげる。 6時 興味をもったところについて、自分の考えと関

連させながら紹介文を書く。 7時 紹介文を読み合って感じたことを伝え合い、考

デジタル教科書の活用場面❸

8時 学習を振り返る。

## デジタル教科書の活用場面の 子どもたちの知的好奇心 をくすぐる

動画は、文章で読み取ったことを確認す ます (※1)。 所について、多くの資料が収録されてい 章だけではなかなかイメージしにくい箇 間」や「ウナギの成長の様子」など、文 では、「たまごからウナギが出てくる瞬 像や動画が収録されています。この教材 るための資料として有効です。 デジタル教科書には、資料として、 特にウナギの調査を追った

本文を読 どの叙述が出てきます。これらの叙述を 中」「あざやかなぐんじょう色の海」な には、「周りに島一つ見えない海の真ん は、言葉を手がかりにしながらイメージ ことにしました。なぜなら、調査の様子 の動画は、単元の出口のところで見せる という方法も考えられますが、 動画を見せ、 で、文章を読む前に「ウナギの調査」の ウナギについての関心が高まったところ もとにしながら、子どもたちなりに海を してほしいと考えたからです。文章の中 メージすることを大切にしたいと考え 内容のイメージをもたせる 多くの時間と労力をかけ



かな」など、数々の疑問が生まれました。 うやって見つけるのだろう。見つかるの 「広い海のどこで卵を産むかなんて、ど があるけど、どうして海で卵を産むのか」 た。「ウナギは川にすんでいるイメ

▲※2 「ウナギのなぞを追って」のワーク「はじめに」

画像はクリックすると

拡大できる。ウナギ(成

魚)の写真なども用意し

ておくとよいだろう。



▲ 10 076-077 g 10 10 1xx g 12 10 10 10 11 17 0 ▲※1 「ウナギのなぞを追って」の資料一覧

❸要約や紹介文を書く活動につながる手

う子が多く、

意外な事実に驚いていまし

ナギが海で卵を産むことを知らないとい

するために、デジタル教科書を活用して

これらの手立てをより効果的なものに

❷事実と考えの記述に気をつけながら

卵の姿に興味津々でした。さらに、「広

海の様子」の写真を見て、

そもそもウ

ているウナギとはなかなか結び付かない

真を見た子どもたちは、自分たちが知っ

し合いました。「ウナギのたまご」

ウナギについて知っていることを出

ーク「はじめに」(※2)を使

めの手立て

調査の道筋を読み取ったり、

調査内容

を捉えたりするための手立て

●子どもたちの知的好奇心をくすぐるた

を考えま

した。

るようにするために、

次のような手立て

初に抱いた興味を最後までもち続けられ



を始めてから、どのくらいの時間がかかいさなウナギのたまごを見つけました。畑気者は、写真のような広い海から、とて

あえてこ

中で、十ミリメートル前後のウナギのその後、一丸九一年、北赤道海流の

ルのウナギの赤ちゃんが、見つかり

た一九六七年、五十四ミリ

科学読み物への関心を高めることができ 目的が薄れてしまいます。言葉を手がか ば一目瞭然ですが、それでは文章を読む て行う地道な調査の様子は、動画を見れ ると考えました。 らなる感動や知的好奇心が生まれ、他の ナギの調査」の動画を見せることで、さ りにして自分なりに読み取った後に、「ウ

## デジタル教科書の活用場面2

# 容を捉えたりするで読み取ったり、調査内を読み取ったり、調査の道筋事実と考えの記述に気を

読み取った事実を自分で確認することが 系列こ合って事実を捉えるために、ワーえも書かれています。そこで、まずは時 また、事実をもとに導き出した筆者の考 活動についての事実が書かれています たちには同様のワークシー ちを整理していきました (※3)。子ども ンを使いながら、調査をした場所や日に プトセファルス、船、海山などのアイコ れている地図や、 ク「第六段落~第八段落の調査結果をた しかめましょう」を活用し、そこに描か この教材では、時系列に沿って、 さまざまな大きさのレ トを配布し 調査



▲※3 「ウナギのなぞを追って」のワーク 「第6段落~第8段落の調査結果をたしかめましょう」

されていく様子を、ワークを活用して視 とに、だんだんウナギの産卵場所が特定 できるようにしました。調査を重ねるご

述をもとにしながらワークシー 覚的に整理していくことで、調査の道筋 査に関連する画像を示し、その画像につ を比較的容易に捉えることができました。 にまとめました。そして、その後グルー れの画像についての説明を、教科書の叙 つか示し、グループ内で分担し、それぞ 入れました。調査に関連する画像をいく いての説明を考えるグループ活動を取り また、調査の内容を捉えるために、調 ト (※4)

に関連するものを選びました。 のの中から、この文章の中心となる内容 書の資料として豊富に収録されているも に掲載されているものや、 ができました。関連する画像は、 ことを通して、内容の理解を深めること とめたことをグループの友達と交流する まとめることができました。さらに、ま 担当した画像に関する叙述をよく読み、 を意図しました。子どもたちは、自分が 疑問点を学び合いによって解決すること 有することで理解できなかったところや むことと、グループ内で調べたことを共 画像と文章を結び付けながらより深く読 プ内で共有しました。この活動を通して デジタル教科 教科書

単なものではありません。そこで、 しかし、子どもたちにとって、要約は簡 ポイントを整理するとともに かい文を書きましょう」(※5)

活動につなげる要約や紹介文を書く

位置づけるということです。つまり、

こで大切なことは、紹介文の中に要約を

書画面を開き、例文がどんな叙述に着目 要約の例文を示しました。そして、教科

しながら要約をしたのか、マ

-カー機能

まずは紹介文の形式を共有します。こ

を使って、

デジタル教科書の活用場面の

### 分に問いかけながら、要約していきます。 ところについて紹介するために、「どう 進めます。そして、自分が興味をもった 的をしっかりと捉えさせたうえで学習を 介文を書くために要約をする、という目 して興味をもったのか」ということを自 しょうかい文の例〉 をさがす調査が始まりました。三十年一九三〇年ごろ、たまごを産む場所 つかい文を書きましょう。 ・思ったことや感じたことを書く ・きょうみをもったことに言葉で短くまとめたりす 何について書いてある話かをま 自分の William ! 000000 III -11^

今回の単元で取り組んだ要約は、

芋手

「ウナギのなぞを追って」のワーク「しょうかい文を書きましょう」

赤ちゃんが、見つかりました。五十四ミリメートルのウナギの三十年以上すぎた一九六七年、 れました。 和きした。 れました。

「ウナギのなぞを追って」の教科書画面

※5の例文は、どの叙述に着目して要約し ているのか、マーカーを引いて示す。そし て,該当する例文を吹き出しに入れて貼付。

## デジタル教科書を活用して

何を、どの場面で、どのような形で提示 動画を活用していくという視点が大切で 理解を深めたりするツー 解していくことを大切にしながら、子ど 意図的に活用していく必要があります するのかなど、授業のねらいに沿って 画が多く収録されています。しかし、こ あくまでも子どもたちが言葉を介して理 れらの素材を有効に活用するためには もたちの理解の助けになったり、 デジタル教科書には魅力的な画像や動 ルとして画像や さらに

手順を視覚的に捉えることができたこと

自分の要約に必要な叙述を選んだり、

きました (※6)。子どもたちは、要約の と吹き出し機能を使い、明らかにしてい

それぞれを関連付けたりしながら要約す

ることができました。

自分の言葉で短くまとめればよいのかと どの文を選んだらよいのか、どうやって をするときに、子どもたちが悩むのは 教科書の文章を示しながら、子どもたち 順を具体的に理解することができました. を使って、視覚的に分かりやすく説明し なかなか要約ができるようにはなりませ とする子どもが多い言語活動です。要約 からこそできることだと思います。 と一緒に、リアルタイムで要約の過程を ていくことで、子どもたちは、要約の手 ん。要約をする過程を、デジタル教科書 いう点です。要約の例文を示すだけでは、 していくことは、デジタル教科書だ

> ▶※4 ワークシート(教師が作成したもの) 左側に画像,右側に書き込み欄を設けている。

........